

新刊書籍のご案内

OPCアプリケーション開発入門 ～ OPC DA から OPC UAまで ～

14年ぶり！ 待望の日本語OPC入門書 発刊



製造業の標準化技術として世界的に普及した **実績のOPC DA** から
次世代産業システムの基盤として展開が進む **期待のOPC UA** まで
OPCの仕様に基づくアプリケーションを作成するための基本が学べます。

サンプルコードやそれを動作させるための資料・プログラム
が含まれる CDを添付



編著：日本OPC協議会（2015年9月 発行）

URL: <https://jp.opcfoundation.org/>

B5判 本文204頁 本体価格3,200円+税

*この書籍は、書店ではお求めになれません。

購入はこちらで：工業技術社
<http://www.ice-keiso.co.jp>

OPCアプリケーション 工業技術社

検索 

OPCアプリケーション開発入門 ～ OPC DA から OPC UAまで ～

●目次

●第1部 OPC Classic

- 1 OPCの基本知識
 - 1.1 OPC技術の開発背景と歴史
 - 1.2 OPCとは
 - 1.3 OPCの概要
 - 1.4 OPCのオブジェクト（オートメーション）
 - 1.5 OPCのオブジェクト（OPC.NETラッパー）
- 2 EXCELを利用したOPCアプリケーションの開発
 - 2.1 EXCELのVBAを利用したOPCアプリケーション
- 3 Visual BasicによるOPCアプリケーションの開発
 - 3.1 Visual Basicプロジェクトの作成
 - 3.2 OPCプロジェクトの作成
 - 3.3 サンプルアプリケーション
 - 3.4 同期方式によるデータの読み込みと書き込み
 - 3.5 非同期方式によるデータの読み込みと書き込み
 - 3.6 まとめ
- 4 OPC.NETラッパーによるOPCアプリケーションの開発
 - 4.1 環境構築
 - 4.2 プロジェクトの作成
 - 4.3 処理の流れ
 - 4.4 実装例
 - 4.5 サンプルプログラム
- 5 動作環境の設定
 - 5.1 OPC専用ユーザーカウントの追加
 - 5.2 DCOM設定
 - 5.3 セキュリティの設定
 - 5.4 ファイアウォールの設定

●第2部 OPC UA

- 1 OPC UAの基本知識
 - 1.1 OPC UAの動機づけ
 - 1.2 OPC UAの概要
 - 1.3 情報モデル
 - 1.4 コミュニケーションスタック
 - 1.5 UAサービス
- 2 OPC ClassicクライアントからOPC UAサーバーへのアクセス
 - 2.1 システム構成
 - 2.2 接続環境の構築
 - 2.3 接続準備
 - 2.4 接続確認
- 3 .NET SDKによるUAアプリケーションの開発
 - 3.1 開発環境の構築
 - 3.2 プロジェクトの作成
 - 3.3 画面構成
 - 3.4 機能上のポイント
 - 3.5 UAアプリケーションの実行

付録

CDが添付されており、本書で紹介するサンプルコードやそれを動作させるための資料・プログラムが含まれています。



日本OPC協会のご案内

日本OPC協会は、製造業オートメーションにおける相互運用性を実現する通信インタフェースを開発、普及する米国非営利法人の国際標準化コンソーシアム(OPC-Foundation)の日本での活動グループとして、1996年に発足しました。おかげさまで多くの関係者の努力により、OPC技術はOPC-DAを中心に世界的な普及が進み、製造業における標準化技術として広範囲なユーザの皆様へ受け入れていただけるようになりました。日本OPC協会を通して、日本からもさまざまな提言、報告がなされ、その活動は世界的に認められています。最近では、プラットフォーム非依存でモデルベースのセキュアなプロトコルにより、現場の機器レベルから上位のMESやERPまでの統一した相互接続性・相互運用性を実現する次世代インタフェースであるOPC-UAが国際標準規格(IEC62541)として承認され、本格的な展開が進められています。

今後とも、より広い範囲で活動される企業の方々に、そしてできるだけ数多くの方々に、ご協力をいただき、より一層の発展を目指していきたいと考えております。皆様方のご参加を心からお待ちしております。

日本OPC協会に関するお問い合わせ

日本OPC協会 事務局 (E-mail: opcjapan@opcfoundation.org)

URL: <https://jp.opcfoundation.org/>